

令和2年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)
(定時制課程)

福岡県立小倉南高等学校長 印

⑨

学校運営計画 (4月)		評価 (3月)			
学校運営方針	教育基本法及び福岡県の教育目標に則り、「働きながら学ぶ夜学の生徒を中心に、生徒の未来と希望を育み、生徒が夢を知り、夢を実現させることのできる学校づくりを推進する」ことを学校運営の根幹として、定時制としての教育活動を展開していく。また、キャリア教育の更なる充実を図り、社会を構成する有為な人材になる志を持って意欲的に学び、他者と信頼関係を築き協働できるたくましい人物を育成する。				
昨年度の成果と課題	<p style="text-align: center;">重点目標</p> <p>授業規律を確立し、確かな学力の育成を行う。</p> <p>規範意識の向上に取り組み、安心・安全な学校生活を実現する。また、生徒と信頼でつながる人間関係の構築に努める。</p> <p>ICT等を活用した分かる授業の実践、生徒会を中心とした学校行事、部活動の活性化などによる魅力ある学校づくりを行う。</p> <p>特別支援教育の視点に立ったキャリア教育を進め、生徒個々の適切な情報提供やガイダンスの充実を図り、個に合った進路選択ができるようにする。</p> <p>職員員の教育相談能力や授業力向上のための必要な研修を行い、本校の教育力・指導力のレベルアップを図る。</p> <p>いじめアンケートや個人面談・家庭訪問を通して、職員・生徒・保護者と連携し、迅速かつ確にいじめ撲滅を推進し、暴力、差別は絶対に許さないと心構えの教育及び人権感覚の育成を図る。</p>	<p style="text-align: center;">具体的目標</p> <p>全職員がチーム小倉南として協働しながら登下校指導・授業中の巡回指導の充実を図り、学習態度や遅刻欠席等をきめ細かく継続的に指導することにより学習環境を整えて、確かな学力の育成を図る。</p> <p>教職員が一体となった生徒指導を行うことにより、規範意識を高める。また関係諸機関との連携により、講演会などを通して、交通安全指導、性教育、薬物乱用防止教育などモラルを向上させる指導をより一層強化する。</p> <p>ICTを活用し主体的対話的で深い学びに繋がる授業に転換し、生徒が積極的に参加する授業を行う。また体育大会・文化発表会などの学校行事を、生徒会を中心として運営し、生徒目線の楽しめる行事として構成する。</p> <p>進路指導主事・特別支援コーディネーター・担任を中心としたチームを構成し、生徒個々の実態を把握したきめ細かな指導を行い、適切な進路選択を支えていく。また就職・資格・上級学校などの情報をわかりやすく提供する。</p> <p>特別支援教育・性教育・薬物乱用防止教育など本校が抱える課題に対し、スクールカウンセラーなどの外部機関と連携し、本校生徒に必要な、実態に即した職員研修を行う。</p> <p>また公開授業や研究授業を実施し、授業力向上に努める。</p> <p>毎月のいじめアンケートだけでなく、定期的な面談や授業・行事などにおいて、全職員で生徒の様子を見守り、変化があった場合は、いじめ対策委員会での対応を協議し、学校全体がチーム小倉南として解決にあたる。</p>	A		
	<p style="text-align: center;">具体的目標</p>	<p style="text-align: center;">具体的方策</p>	評価 (3月)	次年度の主な課題	
教務	<p>授業規律を徹底し、学習意欲の増進を図る。</p> <p>学力の定着を図るため、アクティブラーニングを推進する。</p>	<p>生徒自身が主体的に授業に取り組む姿勢を育てる。</p> <p>面談を積極的に行い、生徒理解に努め、授業に参加しやすい環境を設定する。</p> <p>授業規律を高める取組を通して、生徒が安心して授業に取り組むことができるようにする。</p> <p>ICTを活用し、積極的に授業に参加する雰囲気を作る。</p> <p>生徒の理解度を高めるため、アクティブラーニングを積極的に推進する。</p> <p>基礎的、基本的な問題を多く解かせることで学力の定着を図る。</p> <p>毎日の登下校指導等の中で生徒の行動観察を行い、生徒の問題行動の防止に努める</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>・基礎学力を定着させ、自ら進路を切り拓く力をつけさせる。</p> <p>・年度初めに各学年の教科担任会議を開き授業規律の確認を行う。</p> <p>・定期考査中に試験実施前の10分程度の学習を行う。</p> <p>・電子黒板機能付きプロジェクターを積極的に活用し、アクティブラーニングを推進する。</p>
生徒指導	<p>生徒が安心・安全に学校生活を送ることができる環境づくりを行う。</p> <p>生徒の規範意識を高める。</p>	<p>授業時、校内の巡視を行い、生徒の徘徊や授業妨害の防止に努める</p> <p>生徒の問題行動防止のため、清掃を兼ねて、放課後校内外巡視を毎日行う</p> <p>生徒会活動を充実させ、生徒の自主性を高める</p> <p>講演会や集会での講話を行い、生徒が行動の善悪の判断が適切にできるよう努める。</p> <p>生徒の行動や交友関係について職員間での情報交換を密にし、生徒の人間関係に綻れが生じないように努める</p> <p>保護者との連絡を密にし、保護者との信頼関係作りを努める</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>・中途退学防止：生徒・保護者及び職員間での情報共有を密にする。</p> <p>・立番・巡視：問題行動等の未然防止のため今後も徹底して行う。</p> <p>・下校指導：生徒の安全確保のため、全職員で実施する。</p> <p>・通学許可願：学校敷地内の安全を確保するための手立てを講じる。</p> <p>・安全点検票：点検状況について、定期的に全職員に周知する。</p> <p>・いじめ防止：アンケートの実施・回収を徹底して行う。</p>
進路指導	<p>生徒の希望進路の実現を図る。</p> <p>キャリア教育の更なる充実を図る。</p>	<p>適性検査の結果等を十分に活用しながら個人面談を実施し、個々の進路意識の向上を図る。</p> <p>就職・進学に関しての最新の情報を他の教員や生徒へ随時発信し、求められる知識や技能を共有する。</p> <p>資格取得の奨励や奨学金の活用により、進路の選択肢を増やし、進路実現の可能性を高める。</p> <p>各学年に応じた進路対策講座を開催し、進路を意識した有意義な高校生活を送らせる。</p> <p>社会生活で求められる能力についてしっかり理解させ、学力を高めるために、授業を大切にする意識を持たせる。</p> <p>アルバイトと正社員の違い等を認識させ、将来を見越した学校生活設計ができるように助言する。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス対策による臨時休校と対面制限の影響から進路対策に対する準備が遅れ、進路決定や進路意識向上に手間取った生徒が多かった。2学期以降は意識的に進路行事を組み込んだことで、進路希望調査や面接指導などについて、例年以上に取り組みを行うことができた。ただし、1学年に対する進路指導の充実や、適性検査をどう生かすかの共通理解の場を作ること、就職・進学指導にあたる教員の偏りなどの問題がまだ解決できていないので、次年度の課題としたい。</p>
保健	<p>生徒が主体的に健康の保持増進を行うことができるようにする。</p> <p>生徒が校内衛生について関心をもつことができるようにする。</p>	<p>個に応じた適切な対応を行うことができるように、教職員間での情報共有を密に行い、必要に応じて専門機関との連携を図る。</p> <p>食に関する指導や給食指導をより充実させ、生徒の健康増進を図る。</p> <p>生徒が自らの生活を振り返り、自己肯定感をもつことができるように、健康教育講演会を実施する。</p> <p>生徒が校内衛生について関心をもつことができるように、集会時に積極的に働きかける。</p> <p>学期末に大掃除を実施し、生徒が主体的に校内環境衛生を整えることができるようにする。</p> <p>生徒保健委員会の活動を充実させ、生徒が主体的に校内衛生活動に取り組める体制を整える。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>・生徒保健委員会の活動を実施できたことは良かったが、来年度は生徒保健委員全員が活動できるように計画を立てる必要がある。</p> <p>・保健委員だけでなく、一人ひとりの生徒が校内衛生に関心をもつことができる手立て(保健委員の活動の周知、ポスター作製等)が必要である。</p> <p>・食に関する指導について全職員での共通理解・共通指導を行えるよう働きかける必要がある。</p>
研修	<p>教職員の研修ニーズを把握し、指導力向上のための効果的な研修を実施する。</p> <p>ICTを活用した授業実践力向上のための研修を実施する。</p>	<p>若年教員をはじめとする教職員の指導力向上のため、各分掌と連携し、学期ごとに研修を実施する。</p> <p>学期ごとに生徒との個人面談を実施し、職員間で情報を共有する。</p> <p>生徒理解や生徒情報の共有のため、各分掌と連携して学期ごとに生徒共通理解会議の実施や、情報交換のための話し合いの場を設ける。</p> <p>必要に応じて外部講師を招き、実践力向上のための研修を実施する。</p> <p>ICTを活用した授業改善及びアクティブ・ラーニングを推進し、教材の共有を図る。</p> <p>公開授業や研究授業等の実施・参観によって、授業改善に取り組む。</p>	<p>C</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>C</p> <p>A</p> <p>C</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>4月当初、新型コロナウイルス対策のための臨時休業の際、オンライン授業について話題となったが、その研修が行われなかったため、職員のスクリップアップ向上ができなかった点が悔やまれる。ただし、本年度後半に全教室に設置された電子黒板を素早く活用できた点は、日ごろからのICT活用能力を高める努力が実を結んだものと感じ、高く評価できる。</p> <p>次年度は若年者研修についてもニーズに応じた研修を取り組みたいと考えている。</p>
庶務	<p>本校の取組みをホームページで発信し、より一層家庭および地域との連携を図る。</p> <p>校務の組織化および学校内における連携を強化する。</p>	<p>広報活動において学校ホームページ等を活用することで、本校の魅力を積極的に発信することで地域との連携を図る。</p> <p>学校ホームページを充実化させることで、生徒や保護者等が学校の様子や学校からの連絡を知ることができるようにする。</p> <p>中学生体験入学等の行事を通して、本校の魅力を発信する。</p> <p>分掌における役割分担を明確にし、業務の効率化を図る。</p> <p>行事等における業務分担を早期に明確化し、職員に提示することで計画的に行事等の準備ができるようにする。</p> <p>総学・総探やLHRで使用する教室の利用状況を明確化し、全日制と連絡をとる。</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>・各分掌が担当する業務の明確化と分掌間の連携の強化を行う。</p> <p>・学校HPに行事・部活動の様子や行事予定表などをアップロードすることで、本校の魅力等が十分に伝わるようにする。</p> <p>・全校生徒・保護者に学校メールの登録をしてもらったり、緊急時には学校HPを確認するように生徒に各家庭に働きかける。</p>